

## 3.4.3. データエクスポート

データベース 接続ではGMDH Streamlineの結果をユーザーのデータベースにエクスポートできます。この文章では、次の方法を説明します。:

- 購入と補充に関する [GMDH Streamlineの推奨値のエクスポート](#)
- [需要予測と売上金額予測のエクスポート](#)、 [購入計画](#)、 [予測在庫](#)
- [在庫計画タブのテーブルのエクスポート](#)

### 購入/補充推奨値のエクスポート

データベース 接続ではSQL クエリを実行して、補充オーダーをユーザーのシステムにあるデータベースにエクスポートできます。このSQL クエリは、データベース 接続 ダイアログにある [定期のエクスポート](#) タブに設定します(下記の図を参照)。

データベース接続

ODBC データソース名 [ ] 新規作成... テーブル [ ] 読み込み(B)

ユーザー名 [ ] パスワード [ ] 保護...

前オーダー [ ] 置換 [ ] 部品表 [ ] 販売促進 [ ] バッチ [ ] ミニマックスのエクスポート [ ] 計画オーダーのエクスポート [ ]

```
INSERT INTO purchase_order
(item_code, recommended_ord_qty, location, dc_name, date_created)
VALUES (:itemcode, :orderqty, :location, :dcsource, CURRENT_TIMESTAMP);
```

品目コード = :itemcode 地点 = :location 発注点 = :minpoint オーダー数量 = :orderqty 供給 DC = :dcsource

タイムスタンプのグループ化 単位 [月] 次から開始 [1]  地点の合併  手持ち在庫0と販売履歴0の品目の除外  データ更新のみ

テスト

品目コード [ ] オーダー数量 [0]

地点 [ ]

発注点 [0] 実行

ドラッグアンドドロップでテーブル名とカラム名をコピーできます。

OK 保存 キャンセル

SQL クエリで利用できる5つのマークがあります。マークはSQL クエリ実行時に対応データに置き換えられます。下記の一覧表で、マークと置換を紹介します。

マーク	置換	置換元
:itemcode	品目コード または 購入先品目コード	計画オーダープレビューダイアログ
:orderqty	数量	
:location	地点	
:dcsourc	物流センター	在庫計画タブ
:minpoint	発注点	

:location[]:dcsourc[]:minpoint マークは、任意です。これら任意のマークは、マークに対応した場合に応じて利用されます。例えば、ユーザーのプロジェクトにいくつかの物流センターが定義されている場合、:dcsourcマークを利用し品目の供給元として利用できます。:dcsourcマークを置換した結果がある場合は、行は補充オーダーになりますが、空となる場合は、行は購入オーダーになります。

購入先品目コードをインポートした場合[] ':itemcode' マークは、品目コードではなく購入先品目コードに置換されます。

計画オーダープレビューダイアログにある作成 ボタンがクリックされたときに[]SQL クエリ内のマークの置換が行われ、そのSQL クエリが実行されます。ダイアログにあるチェックが付いた1行につき1回のSQL クエリが実行されます。

テストセクションでは、セクションにあるフィールドに入力されたデータを利用し、SQL クエリのテストができます[]SQL クエリの中のマークは、ユーザーの入力データに置換されます。実行 ボタンをクリックして、テストします。

## 需要予測、購入金額、予測在庫水準のエクスポート

次のエクスポートができます。:

- [最終予測レポート](#)
- [予測売上金額レポート](#)
- [オーダー計画](#)
- [予測在庫レポート](#)

上記のレポートはすべて単一のSQL クエリでエクスポートできます。エクスポートしたいレポートを1つ(あるいは組み合わせで)選択できます。

次の列で構成される行をエクスポートできます。:

- 品目コード
- 地点
- 予測日付 - GMDH Streamline 5.x.xを利用している場合、エクスポートを実施した日付<sup>1)</sup>です[]GMDH Streamline 4.x.xを利用している場合、予測の予測時点日付です。
- 予測期間 開始日 - 現在エクスポートしたデータ集計期間 (もしくはより長い期間)の開始日。
- 予測期間 終了日 - 今回エクスポートした期間の終了日。
- 需要予測 - 今回エクスポートした期間の最終予測。

- **購入計画** - 今回エクスポートした期間の開始までにオーダー(補充オーダーあるいは購入オーダー)すべき推奨数量。
- **予測在庫** - 今回エクスポートした期間の終了時点の在庫水準。
- **予測売上金額** - 今回エクスポートした期間の予測売上金額。

これらのデータは、ユーザーのデータベースのテーブルに保存されます。テーブルがない場合、作成が必要です。下記は、テーブル作成するSQL クエリ例です。

```
CREATE TABLE [dbo].[export_forecast_report](
  [item_code] [nvarchar](250) NOT NULL,
  [location] [nvarchar](250) NULL,
  [forecast_date] [smalldatetime] NULL,
  [period_start_date] [DATE] NULL,
  [period_end_date] [DATE] NULL,
  [demand_forecast] [INT] NULL,
  [purchase_plan] [INT] NULL,
  [inventory_projection] [INT] NULL,
  [projected_revenue] [DECIMAL](18, 3) NULL,
)
GO
```

このSQL クエリは、ファイルとして

ダウンロード

できます。この例では、エクスポートできるすべての列が定義されています。

テーブル作成後の次の手順は、作成したテーブルにエクスポートするSQLクエリの作成です。エクスポート用のSQL クエリでは、特定のデータ要素をエクスポートできる複数のマークを利用できます。マークは対応するデータに置換されます。置換元を次の一覧表に紹介します。

マーク	置換	置換元
:itemcode	品目コード	在庫計画タブ
:location	地点	
:forecastdate	現在の日付	OSシステム
:startdate	期間開始日	イベントモデル
:enddate	期間終了日	
:forecast	レポート内の対応するセルの値	最終予測レポート
:purchaseplan		オーダー計画
:invprojection		予測在庫レポート
:projrevenue		予測売上金額レポート

下記は、レポート内のすべてのデータをエクスポートするSQL クエリ例です。

```
INSERT INTO export_forecast_report (
  [item_code],
  [location],
  [forecast_date],
  [period_start_date],
  [period_end_date],
  [demand_forecast],
```

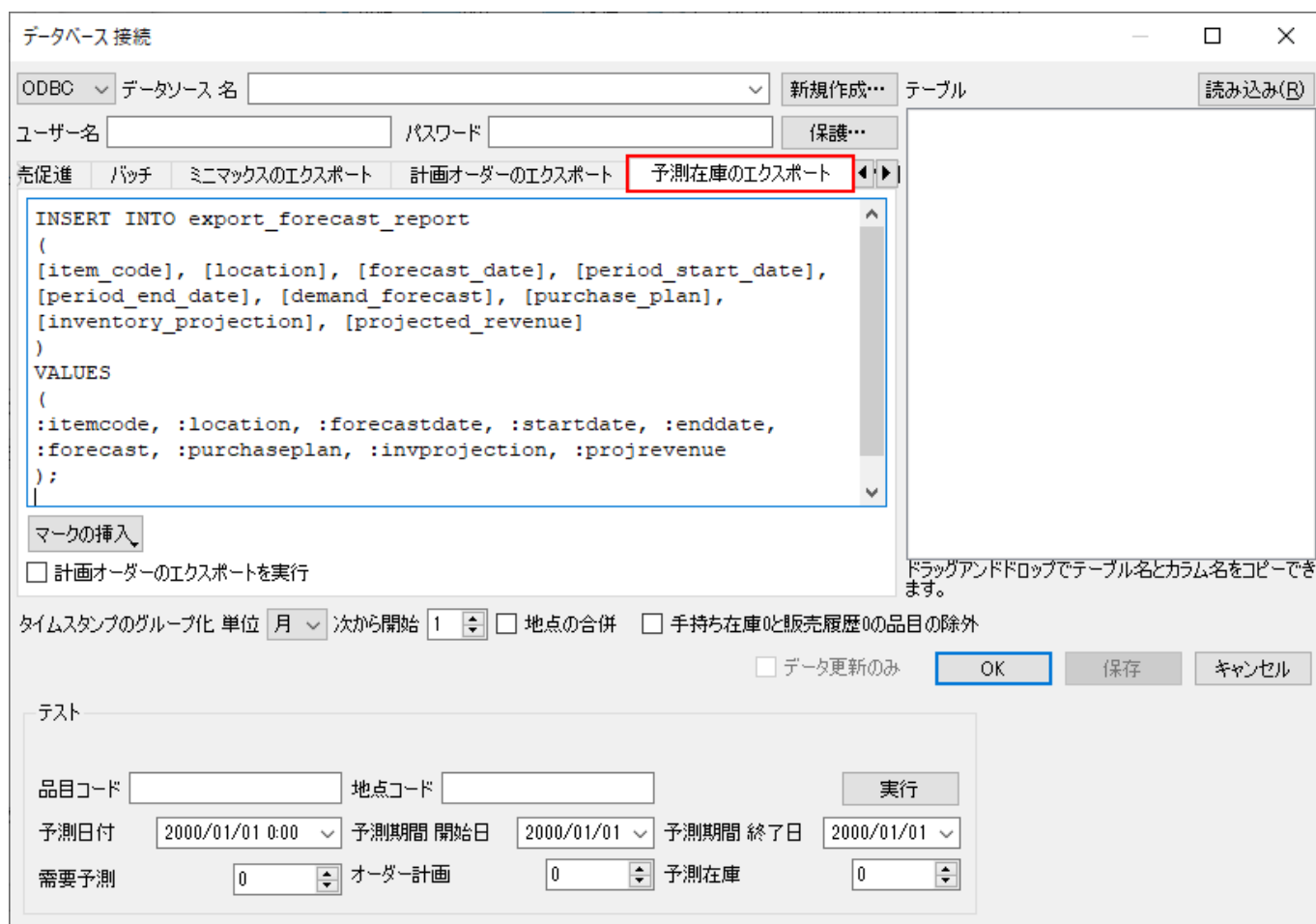
```
[purchase_plan],  
[inventory_projection],  
[projected_revenue])  
VALUES (  
:itemcode,  
:location,  
:forecastdate,  
:startdate,  
:enddate,  
:forecast,  
:purchaseplan,  
:invprojection,  
:projrevenue  
);
```

このSQL クエリは、ファイルとして

ダウンロード

できます。このSQLクエリは、事前に作成されたテーブルにデータを追加する想定で設計されています。

次に、**予測在庫のエクスポート** タブにてSQL クエリを追加します(下記の図を参照)。



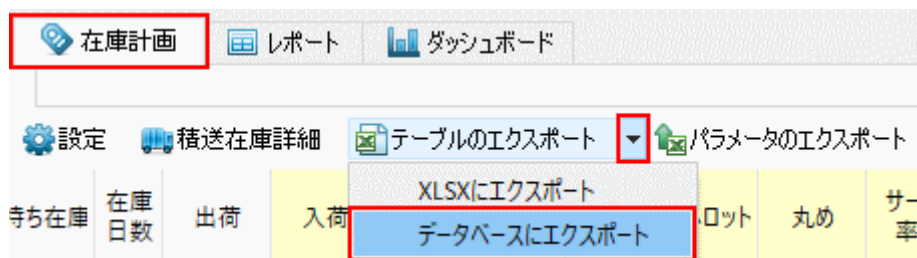
計画オーダーのエクスポートを実行オプションは、**計画オーダープレビューダイアログの作成** ボタンのクリックがSQL クエリの実行条件です<sup>2)</sup>

テストセクションでは、セクションにあるフィールドに入力されたデータを利用し、SQL クエリのテストができます。SQL クエリの中のマークは、ユーザーの入力データに置換されます。**実行** ボタンをクリックして、テストします。

最後に、**保存** ボタンをクリックします。

レポートをエクスポートするには、

1. **在庫計画** タブを選択します。
2. ツールバーにある**テーブルのエクスポート** ボタンの隣にある小さな黒い三角形をクリックします。
3. ドロップダウンから**データベースにエクスポート** オプションを選択します(下記の図を参照)。



## 在庫計画テーブルのエクスポート

在庫計画タブの**すべての品目フィルター**にあるレポート全体は、ほぼすべてのレポート部分をデータベースにエクスポートできます。ただし、この機能は下記のレポート部分はエクスポートしません。:

- **購入計画** 全体
- **需要予測** セクション
- **予測在庫水準** セクション

レポートは、**予測在庫のエクスポート** タブを利用してエクスポートします。この節では、レポートできる部分を紹介します。

これらのデータは、ユーザーのデータベースのテーブルに保存されます。テーブルがない場合、作成が必要です。下記は、テーブル作成するSQL クエリ例です。

```
CREATE TABLE [dbo].[export_inventory_report](
    [item_code] [nvarchar](250) NOT NULL,
    [item_description] [nvarchar](250) NULL,
    [location] [nvarchar](250) NOT NULL,
    [distribution_center] [INT] NULL,
    [bom_type] [nvarchar](250) NOT NULL,
    [supplier] [nvarchar](250) NOT NULL,
    [model_type] [nvarchar](250) NULL,
    [inventory_on_hand] [DECIMAL](18, 3) NULL,
    [on_hand_supply_days] [INT] NULL,
    [on_hand_supply_month] [INT] NULL,
    [backorder] [INT] NULL,
    [in_transition] [DECIMAL](18, 3) NULL,
    [leadtime] [INT] NULL,
    [order_cycle] [INT] NULL,
    [min_lot] [INT] NULL,
    [max_lot] [INT] NULL,
```

```
[rounding] [INT] NULL,  
[service_level] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[minimum_display_quantity] [INT] NULL,  
[safety_stock] [nvarchar](250) NULL,  
[debt_received] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[debt_accumulated] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[debt_passed] [INT] NULL,  
[shelf_life] [INT] NULL,  
[shelf_discard] [INT] NULL,  
[purchase_price] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[gross_margin] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[turn_earn_index] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[note] [nvarchar](250) NOT NULL,  
[order_now_quantity] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[order_now_net_order_quantity] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[order_now_excess_order] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[order_now_purchase_value] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[order_now_days_of_supply] [INT] NULL,  
[order_now_margin] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[next_order_by] [DATE] NULL,  
[dc_fill_rate] [DECIMAL](18, 3) NULL,  
[reorder_point] [INT] NULL,  
[reorder_amount] [INT] NULL,  
[stockout] [INT] NULL,  
[overstock] [INT] NULL,  
[write_offs] [INT] NULL,  
)  
GO
```

このSQL クエリは、ファイルとして

ダウンロード

できます。

テーブル作成後の次の手順は、作成したテーブルにエクスポートするSQLクエリの作成です。エクスポート用のSQL クエリでは、特定のデータ要素をエクスポートできる複数のマークを利用できます。マークは対応するデータに置換されます。置換元を次の一覧表に紹介します。

マーク	置換	置換元
:itemcode	品目コード	
:itemdescr	説明	
:bomtype	製造状態	
:distcenter	物流センター	
:supplier	購入先	
:modeltype	モデルタイプ	
:onhand	手持ち在庫	
:dcfillrate	<b>DC</b> 充足率	
:ohsupplydays	在庫日数	
:ohsupplymonth	在庫月数	
:backorder	出荷	
:intransition	入荷	
:leadtime	リードタイム 日数	
:ordercycle	オーダーサイクル 期間	
:minlot	最小ロット	
:maxlot	最大ロット	
:rounding	丸め	
:servicelevel	サービス率	
:minshelf	陳列数量	
:shelflife	保存期限 期間	
:shelfdiscard	保存期限超過 %	
:safestock	安全在庫	
:purchaseprice	購入単価	
:margin	粗利益率	
:debtreceived	安全在庫負債 受入	
:debtaccumulated	安全在庫負債 累計	
:debtpassed	安全在庫負債 払出	
:turnearn	交差比率	
:qty	今回のオーダー 数量	
:posupplydays	今回のオーダー 在庫日数	
:pomargin	今回のオーダー 粗利益率	
:netorder	今回のオーダー 正味オーダー	
:excessorder	今回のオーダー 過剰オーダー	
:purchasevalue	今回のオーダー	
:nextorderby	次回オーダー日付	
:reorderpoint	発注点	
:maxinventory	最大在庫	
:stockout	欠品	
:overstock	過剰在庫	
:writeoff	減価償却	

在庫計画タブのテーブル

下記は、在庫計画タブのテーブルすべての列をエクスポートするSQL クエリ例です。

```
INSERT INTO [dbo].[export_inventory_report](
    [item_code] ,
    [item_description],
```

```
[location],  
[distribution_center],  
[bom_type],  
[supplier],  
[model_type],  
[inventory_on_hand],  
[on_hand_supply_days],  
[on_hand_supply_month],  
[backorder],  
[in_transition],  
[leadtime],  
[order_cycle],  
[min_lot],  
[max_lot],  
[rounding],  
[service_level],  
[minimum_display_quantity],  
[safety_stock],  
[debt_received],  
[debt_accumulated],  
[debt_passed],  
[shelf_life],  
[shelf_discard],  
[purchase_price],  
[gross_margin],  
[turn_earn_index],  
[note],  
[order_now_quantity],  
[order_now_net_order_quantity],  
[order_now_excess_order],  
[order_now_purchase_value],  
[order_now_days_of_supply],  
[order_now_margin],  
[next_order_by],  
[dc_fill_rate],  
[reorder_point],  
[reorder_amount],  
[stockout],  
[overstock],  
[write_offs])
```

VALUES (

```
:itemcode,  
:itemdescr,  
:location,  
:distcenter,  
:bomtype,  
:supplier,  
:modeltype,  
:onhand,  
:ohsupplydays ,
```



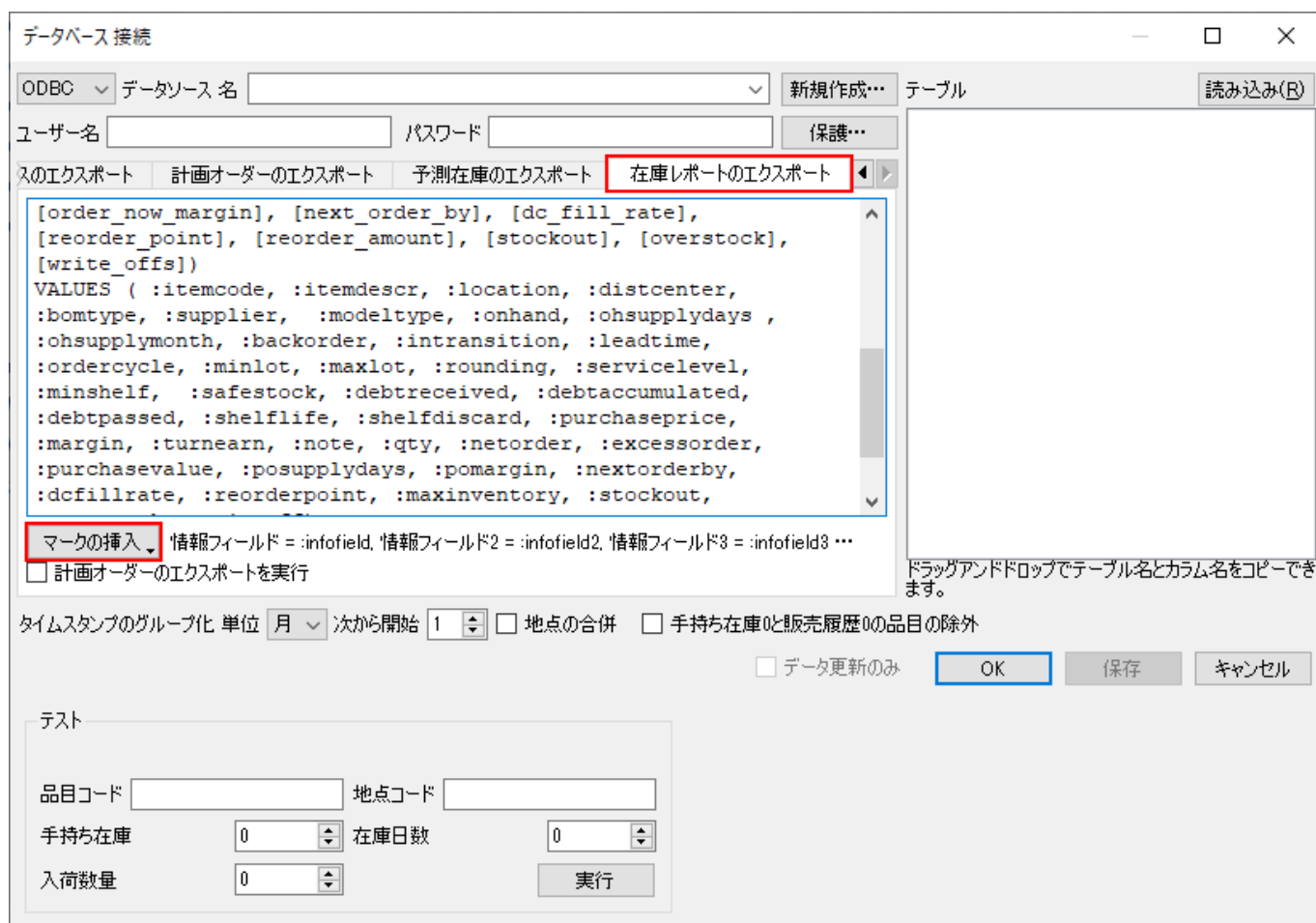
```
:ohsupplymonth,  
:backorder,  
:intransition,  
:leadtime,  
:ordercycle,  
:minlot,  
:maxlot,  
:rounding,  
:servicelevel,  
:minshelf,  
:safestock,  
:debtreceived,  
:debtaccumulated,  
:debtpassed,  
:shelflife,  
:shelfdiscard,  
:purchaseprice,  
:margin,  
:turnearn,  
:note,  
:qty,  
:netorder,  
:excessorder,  
:purchasevalue,  
:posupplydays,  
:pomargin,  
:nextorderby,  
:dcfillrate,  
:reorderpoint,  
:maxinventory,  
:stockout,  
:overstock,  
:writeoff  
);
```

このSQL クエリは、ファイルとして

ダウンロード

できます。

ここで、**在庫レポート**の**エクスポート**タブにデータを追加するクエリです(下記の図を参照)。



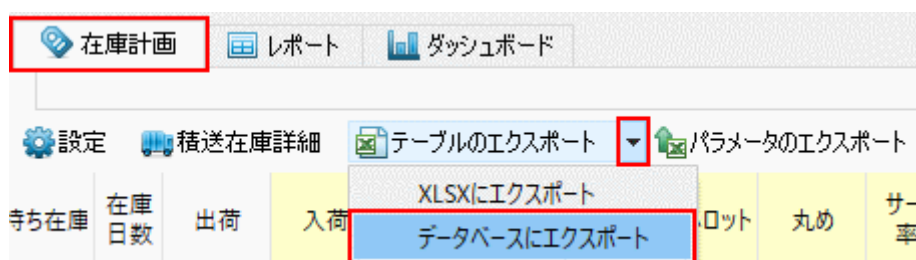
マークの挿入 ボタンを使い、テーブルの対象となる列に対応するマークを追加します。マークの一覧を確認するには、ボタンの隣にある小さな黒い三角形をクリックします。マークの追加は、この一覧から対象列を選択します。

計画オーダーのエキスポートを実行 オプションのチェックは、[計画オーダープレビューダイアログ](#)の作成 ボタンをクリック時のSQL クエリの実行条件です<sup>3)</sup>

テストセクションでは、セクションにあるフィールドに入力されたデータを利用し、SQL クエリのテストができます。SQL クエリの中のマークは、ユーザーの入力データに置換されます。実行 ボタンをクリックして、テストします。

最後に、保存 ボタンをクリックします。

1. 在庫計画 タブを選択します。
2. テーブルのエキスポート ボタン of the ツールバーにあるテーブルのエキスポート ボタンの隣にある小さな黒い三角形をクリックします。
3. ドロップダウンからデータベースにエキスポート オプションを選択します(下記の図を参照)。



次へ: 在庫管理システム

PDFダウンロード

1)

翻訳者注釈: 私たちの現在日付です。

2)

翻訳者注釈: 実行するためには、事前に各明細にチェックが必要です。

3)

翻訳者注釈: 実行するためには、事前にチェックが必要です。

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:database-connection-exporting-data>

Last update: **2020/09/26 11:58**

